



2026年5月7日

各 位

日本通信株式会社
代表取締役社長兼CEO 福田 尚久
東京都港区虎ノ門四丁目1番28号
(コード番号: 9424 東証プライム市場)
問合せ先 執行役員CFO 小平 充
電話 03-5776-1700

個別業績および連結業績の前期実績との差異に関するお知らせ

日本通信株式会社(以下、「当社」という)は、2026年3月期(2025年4月1日~2026年3月31日)の個別業績および連結業績について、前期実績との差異が発生いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 前期個別実績との差異について

(1) 2026年3月期個別業績と前期実績との差異(2025年4月1日~2026年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前期実績(A)	百万円 9,064	百万円 1,099	百万円 1,095	百万円 902	円 銭 5.45
当期実績(B)	11,507	1,294	1,256	394	2.36
増減額(B-A)	2,443	194	161	△508	
増減率(%)	27.0%	17.7%	14.7%	△56.3%	

(2) 差異の理由

2026年3月期個別業績は、2020年7月から「日本通信SIM」ブランドで提供を開始した通話定額または準定額を備えたモバイル通信サービスが引き続き安定的に伸長し、売上高が前期実績を上回りました。

当社は、「日本通信SIM」ブランドの競争力を維持するため、商品仕様を拡充しており、同ブランドの売上は、当期においても、個人・法人の契約回線数ともに順調に伸長し、大手携帯電話事業者や大手MVNOからのMNP転入も増加しました。また、パートナーブランドでの音声通信サービスの契約回線数も順調に伸長し、モバイル通信サービスは、MVNO事業およびMVNE事業ともに成長することができました。

なお、当期純利益は、連結子会社である my FinTech 株式会社保有する事業用資産について減損損失を計上したことなどにより、当社が保有する連結子会社2社の株の実質価額が著しく低下したものと、関係会社株式評価損を計上したことなどにより、前期実績を下回りました。

2. 前期連結実績との差異について

(1) 2026年3月期連結業績と前期実績との差異（2025年4月1日～2026年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
前期実績 (A)	百万円 9,238	百万円 962	百万円 1,000	百万円 849	円 銭 5.12
当期実績 (B)	11,633	1,134	1,117	763	4.58
増減額 (B-A)	2,394	171	117	△85	
増減率 (%)	25.9%	17.8%	11.8%	△10.1%	

(2) 差異の理由

売上高は、上記の個別業績と同様の理由により、前期実績を上回りました。

なお、親会社株主に帰属する当期純利益は、連結子会社である my FinTech 株式会社保有する事業用資産について減損損失を計上したことなどにより、前期実績を下回りました。

以 上

■日本通信について

日本通信株式会社は、1996年の創業以来、通信業界に革新をもたらし、MVNO市場を切り拓いてきたパイオニアです。シンプルで合理的なモバイル通信サービスを中心に事業を展開し、安定した収益モデルを確立しつつ、さらなる成長を目指しています。特許技術を活用した無線専用線「閉域SIM間通信」やデジタル認証技術「FPoS」を強みとし、認証技術をコアにモバイル通信サービス及びデジタル認証基盤の提供にも注力しています。国際セキュリティ基準PCI DSS認定を取得したモバイル専用線は警察や銀行などの厳しい分野で採用。FPoSは世界最高水準のセキュリティと利便性を両立しています。「安全・安心にビットを運ぶ」というミッションのもと、国境を越えた安全なモバイル環境の社会インフラ構築を目指し、持続可能な成長と企業価値の向上に取り組んでいます。